

パリコレクションで絶賛され、パリのコレットでも人気商品となっているの parisラインに新作が登場。DUPUY 社のトーゴ革は、柔らかく、使えば使うほど味わいが増す。

HAWAII
FASHION
NEWS

ヨーロッパで話題のハワイ発バッグ 「ラナイ・トランジット」 元エルメスの有名デザイナーと ハワイのバッグがコラボした

パリの流行を左右するという名門セレクトショップ「コレット」のショーウィンドウを飾った、ハワイ発のバッグ「ラナイ・トランジット」。そしてこの春、そのパリから1人のデザイナーがハワイを訪れた。目的は、同社のバッグとコラボしたデザインを考案するため。パリのセンスとハワイが融合する!?

エルメスのチーフデザイナーとして、その洗練されたデザインで一躍ファッション界の有名デザイナーとなったのが、イザック・レイナ氏。現在は自身のブランドを展開する彼が、「生まれて初めて」というハワイに足を踏み入れたのは、今年春のこと。「私の故郷バルセロナは、建築やファッションなどの分野で新しい物を生み出すこと、新たな挑戦をすることを尊重する文化があります。今回、ハワイにやって来て、歴史を尊重する側面もありながら、新しい物や見知らぬ物に寛容な文化が、故郷に似ていると思いました」
とイザック氏。実は今回、イザック氏がハワイを訪れたのは、ハワイのバッグブランド「ラナイ・トランジット」の招きによるもの。同社の新作バッグのデザインを、依頼されたのだという。

「ラナイ・トランジットは、日本の伝統的な製鞆技術をハワイに上手に融合しました。私の今回の役目も融合だと思っています。初めて見るハワイでさまざまな刺激もあって、それをどうデザインに生かすか。日本とハワイの融合に、さらにヨーロッパ仕込みの私のセンスを盛り込む。最初に話を聞いた時に、とて





イザック・レイナ

ISAAC REINA

Isaac Reina © 1968年スペイン・バルセロナ生まれ。91年から98年までアントニオミロ (ANTONIO MIRO) のメンズウェアラインのデザイナーを務める。98年にエルメスに入社。メンズ部門のデザイナーとしてアーティストリックデザイナーのヴェロニク・ニシャニアンのもとでアシスタントを務め、その後エルメスのメンズ部門で長らく活躍した。2006年に独立し、自身のブランド「ISAAC REINA」を立ち上げ、パリにショッップをオープン。シンプルで洗練されたデザインの革小物ブランドとして世界中から高い評価を受けている。

<http://isaacreina.com>

ハワイでインスパイアされた
イメージをもとに
来シーズンのデザインを考案中!



もわくわくしたのを憶えています」
とイザック氏。

デザイナーは シェフのようなもの

イザック氏は、デザインにおいて3つのことを大切にしている。1つはクオリティー。素材はクオリティーの重要な要素となる。2つ目は、職人（マエストロ）をリスペクトし、その技を尊重すること。3つ目は、イノベーションだそう。

「そして、そこには「美」がなくてはなりません。エルメスのデザイナーだった時代、師であったヴェロニク・ニシャニアンに教えられたのは、パーフェクトバランスでした。どんな素晴らしいデザインもバランスが欠けては台無しなのです。私は、デザイナーはシェフのようなものだと思います。多くの素晴らしい素材をどう融合させ、美しく仕上げるか。それが我々に課された使命なのです」

すでに、イザック氏は、東京での打ち合わせも終え、ハワイでインスパイアされた感性をもとにデザインに取りかかっている。上のデザイン画は、初公開のイザック氏のイ

メージ。真ん中の花は、この形をもとに、「ファンタジー」というレディースラインを考えているそう。

オーキッドの葉が連なるイメージで、これまでにない大胆なデザインになりそう。メンズラインは、ハンドルに何か仕掛けがあるらしい。ハワイのインスピレーションを形にするべく、フランスの革素材との組み合わせや、カッティングを緻密に計算、検討しているという。

「デザインは、何より人を幸せにしないとけません。樂園ハワイで生まれたデザインは、幸せに最も近いと確信しています」

ここまで聞いただけで、完成が楽しみになってくる。イザック氏とのコラボモデルは、秋以降、ハワイの店舗に並ぶ予定だそう。

ランナイ・トランジット Lanai TRANSIT

ロイヤル・ハワイアン・センター店
住所：ロイヤル・ハワイアン・センター A 館1階
カルティエとフェンディの間
電話：808-923-3380

アラモアナセンター店
住所：アラモアナセンター2階
モールレベル白木屋内
電話：808-973-9141

Web：www.lanai-transit.com